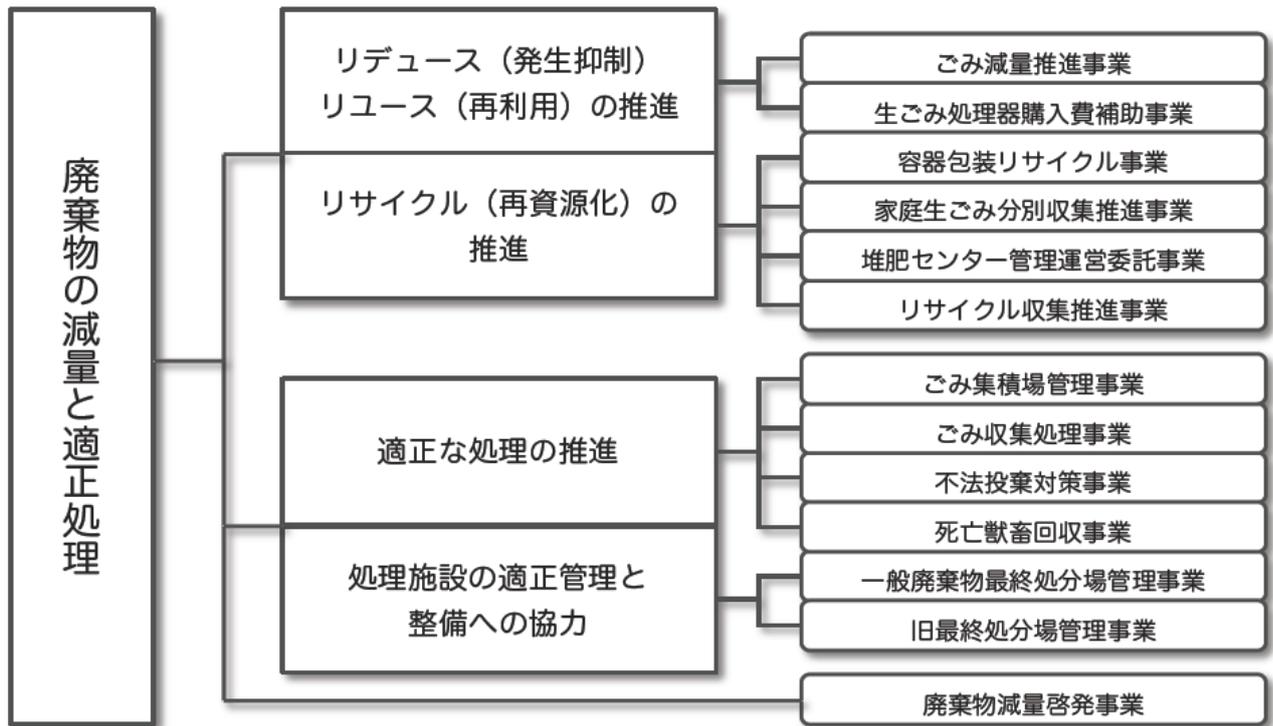


基本施策3 廃棄物の減量と適正処理

1 施策の柱と事業の構成

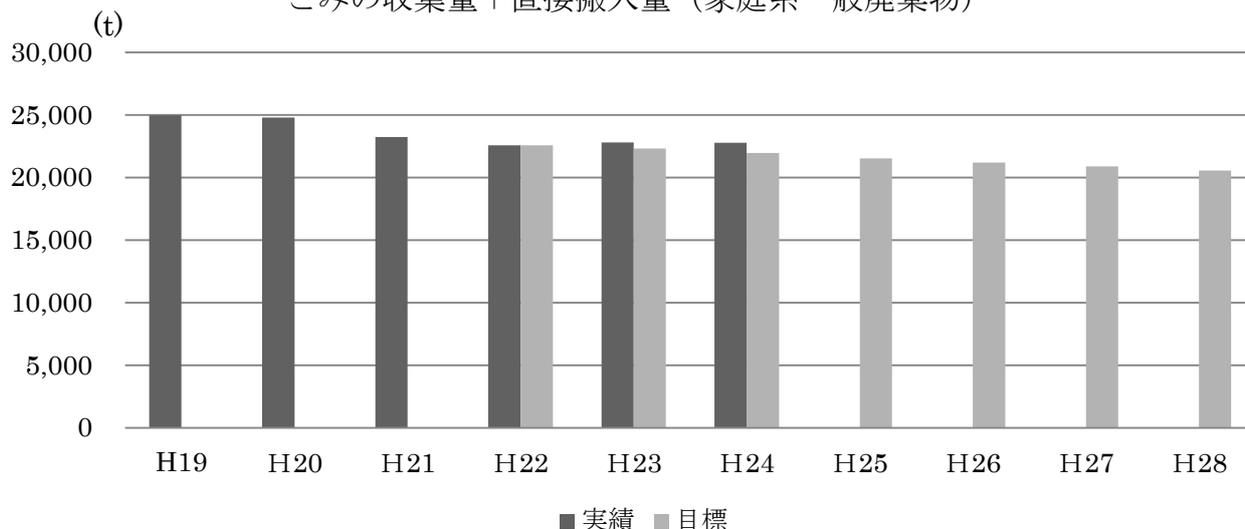


2 施策指標の達成状況

施策指標	単位	平成 22 年度 実績	H24 年度 実績	H28 年度 目標	達成 状況
ごみの収集量＋直接搬入量 (家庭系一般廃棄物)	t	22,578	22,786	20,562	×
1人一日当たりのごみ収集量＋直接搬入量 (家庭系一般廃棄物)	g/人・日	573	586	552	×
再資源化率(家庭系一般廃棄物)	%	34.9	33.8	35.2	×
桐林クリーンセンターへの直接搬入量 (事業系一般廃棄物)	t	5,399	5,526	5,416	×
不法投棄の発見通報件数(廃棄物重量)	件(kg)	222(6,976)	115(4,667)	160(6,300)	×

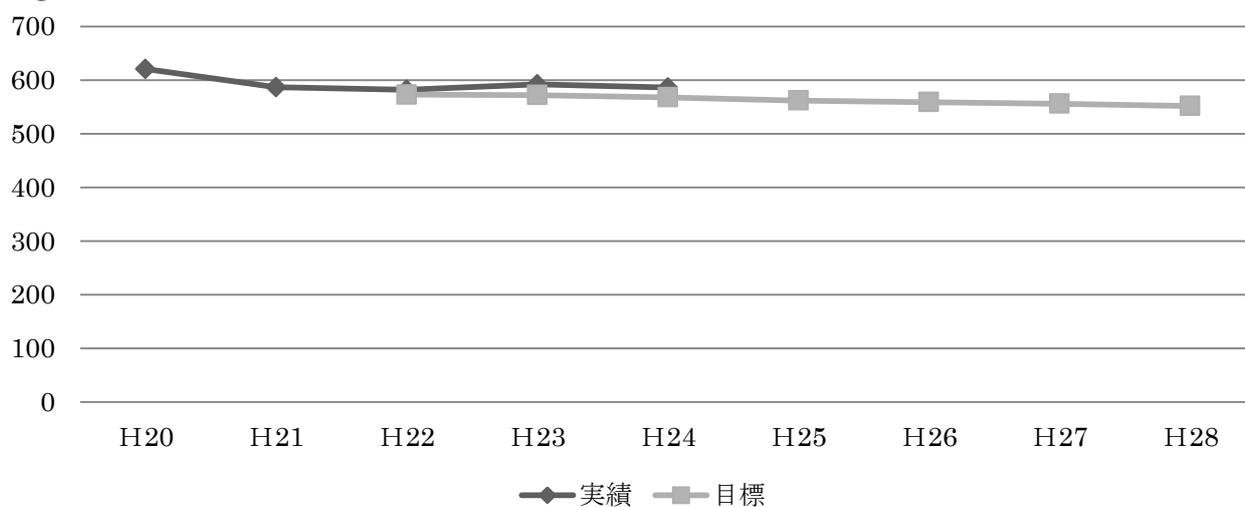
達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向    ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向  
 △：目標未達成だが改善傾向    ×：目標未達成で、横ばいまたは悪化傾向

ごみの収集量+直接搬入量（家庭系一般廃棄物）

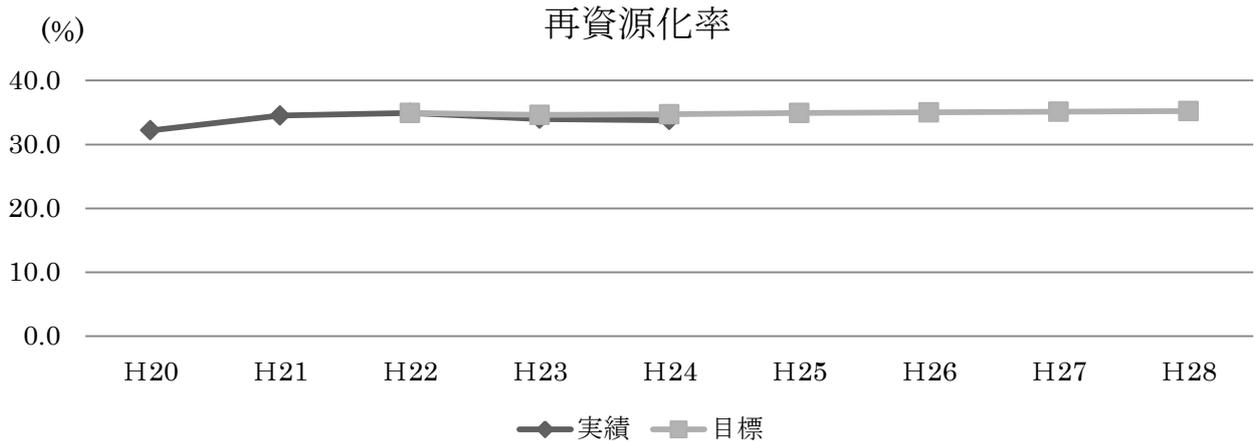


平成 24 年度のごみの収集量（家庭系一般廃棄物）の合計は 2 万 2,786 トンで、前年度と比較しほぼ横ばいとなったものの、「飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（平成 24 年度～28 年度）における計画値 2 万 1,950 トンと比較し、836 トンの増となっている。

(g/人・日) 1 人一日あたりのごみ収集量+直接搬入量（家庭系一般廃棄物）

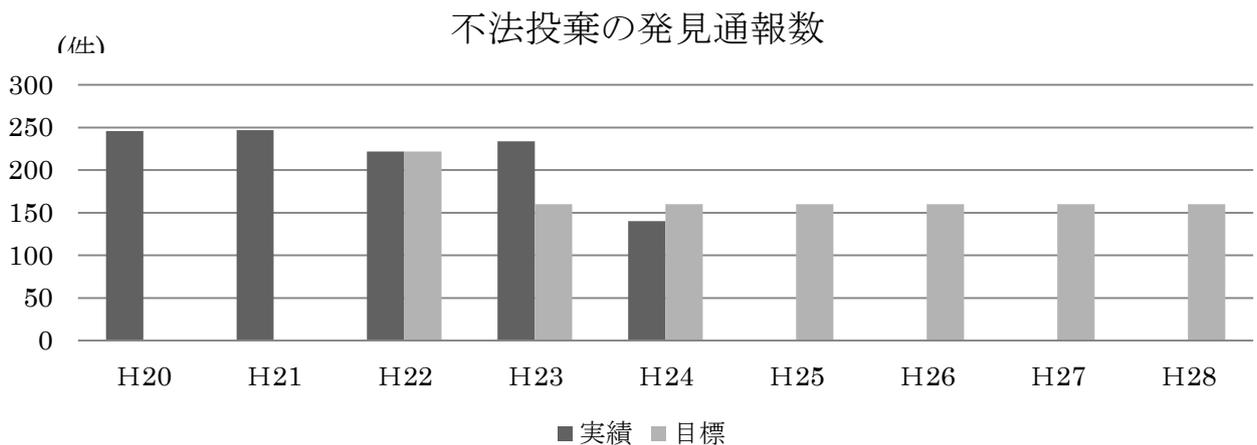
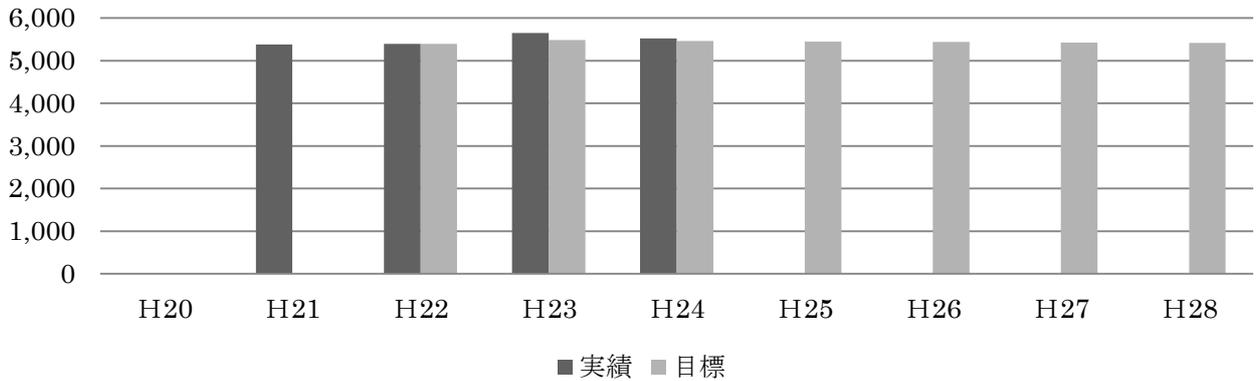


1 人一日あたりごみ収集量は、昨年比で横ばいに改善したが、計画に比べると多くなっている。



再資源化率は33.8%と、前年度より0.2ポイント低下したが、これは処分ごみが増加するとともに、資源ごみが減少したことによる

(t) 桐林クリーンセンターへの直接搬入量（事業系一般廃棄物）



平成24年度の不法投棄の発見通報件数は140件で、前年度234件と比較して94件の大幅な減少となった。

### 3 施策の柱の達成状況

#### 施策3-1 リデュース、リユースの推進 リサイクルの推進

##### 1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H24年度の状況
第1段階	市民、事業者とともに、現状のごみ分別、収集・運搬、処分体制を維持し、さらに、分別の向上を図り、リデュース、リユース、リサイクルの推進を図ります。	◎ 実施中
第2段階	ごみのエネルギー利用などについて、南信州広域連合によって検討中の次期ごみ処理施設建設設計画を踏まえ、研究を進めます。	◎ 実施中

##### 2 進行を管理する指標

施策指標（再掲）	単位	平成22年度 実績	H24年度 実績	H28年度 目標	達成状況
ごみの収集量＋直接搬入量 （家庭系一般廃棄物）	t	22,578	22,786	20,562	×
1人一日当たりのごみ収集量＋直接搬入量 （家庭系一般廃棄物）	g/人・日	573	586	552	×
再資源化率（家庭系一般廃棄物）	%	34.9	33.8	35.2	×
桐林クリーンセンターへの直接搬入量 （事業系一般廃棄物）	t	5,399	5,526	5,416	×

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向 ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向

△：目標未達成だが改善傾向 ×：目標未達成で、横ばいまたは悪化傾向

### 3 事業の実施状況

事務 事業名	ごみ減量推進事業	家庭生ごみ分別収集推進事業
担当課	環境課	環境課
全体 概要	<p>レジ袋削減など、消費者活動の支援などで家庭から排出されるごみの減量化を推進するほか、ISO14001などの環境マネジメントシステムの普及促進による自主的な計画により事業所から排出されるごみの減量化を推進します。</p> <p>1 家庭から排出されるごみの減量化の推進 2 事業所から排出されるごみの減量化の促進</p>	<p>旧市内JR飯田線東側地域内の、家庭から排出される生ごみを分別収集します。</p> <p>1 家庭から排出されるごみの減量化を推進します。</p>
実績	<p>1 買い物時の簡易包装化を推進しました。</p> <p>(1) 南信州レジ袋削減推進協議会、市民団体等との連携によるマイバッグ運動、街頭啓発活動 (2) 販売店との連携</p> <p>2 家庭から排出されるごみを減量する方法の研究を行いました。</p>	<p>1 家庭生ごみ分別収集を実施しました。</p> <p>(1) 家庭生ごみの分別収集運搬委託 (2) 分別収集の徹底を図るため、参加町内の全世帯へのチラシの配布</p>
指標値	<p>1 (1)街頭啓発回数 11回 (2)レジ袋削減への協力店舗数 77 店舗</p> <p>2 検討会議開催回数 8回</p>	<p>1 (1)家庭生ごみ分別収集量 179t (2)チラシ配布枚数 2,877 枚</p>
決算額	0(千円)	13149(千円)

事務 事業名	生ごみ処理機器購入費補助事業	容器包装リサイクル事業
担当課	環境課	環境課
全体 概要	生ごみ処理機器の購入費の一部補助を行い、家庭から排出される生ごみの減量を図ります。(購入金額の半額補助、補助金の上限2万円)	容器包装などの原材料利用としてのリサイクルを推進するほか、各地区まちづくり委員会への委託によりリサイクルステーションの管理運営を行います。
実績	生ごみ処理機器の普及啓発を行いました。 1 生ごみ処理機器購入費補助金 2 補助実施世帯についての調査 3 補助制度の広報活動(広報掲載、ケーブルTV、いいだFM、ウェブサイト)	1 容器包装リサイクルを推進しました。 2 その他リサイクルの推進を行いました。 3 リサイクルステーションの適切な運営と管理を行いました。 4 各地区まちづくり委員会との協働によるごみの組成調査を実施しました。
指標値	1 補助件数 100件 2 調査件数 1,000件 3 広報活動媒体数 4媒体	1収集量 (1) ペットボトル収集量 78t (2) プラ資源収集量 1,639t 2 ガラスびん収集量 415t 3 委託か所数 130カ所 4 実施地区数 20地区
決算額	1,826(千円)	49,668(千円)

事務 事業名	リサイクル収集推進事業	堆肥センター管理運営委託事業
担当課	環境課	農業課
全体 概要	ごみ処理手数料制度の運用、資源物回収団体の支援などにより、リサイクルを推進します。	センターは平成 16 年6月に本格稼働し、市内で発生するきのこの廃培地(6t/日)を水分調整材に、市街地の家庭生ごみ等(3t/日地)を発酵促進材に、畜産農家の畜ふん(10t/日)を主原料に、リサイクル発酵堆肥を生産し、市内を中心にバラ・袋づめの2形態で販売しています。本施設は、JA、事業参画農家(6戸)、飯田市の出資により設立した「有限会社いいだ有機」に管理運営を委託しており、独立採算での事業運営がなされています。本会社の主たる収入は、堆肥原料(畜ふん、生ごみ、きのこ廃培地、事業系生ごみ)の処理経費相当分及び堆肥販売収入であり、市では、中心市街地の家庭生ごみ及び公共施設(丸山共同調理場、東・西中、浜井場・追手町・丸山小・市役所)生ごみの処理経費相当額を委託料として支出しています。また、当該施設用地、8,827 m <sup>2</sup> 分は借地として市が借地料を負担しています(地権者2名 契約期間 20 年)。機械設備の定期検査(車検)、環境影響調査は施設所有者である市が行っています。
実績	1 ごみ処理費用負担制度を運用しました。 (1) 証紙取扱手数料業務(問屋、小売店) (2) 出荷管理票貼付等業務(袋作成メーカー) 2 資源物回収団体への活動支援を行いました。 (新聞紙、段ボール紙、雑誌その他紙)	1 管理運営委託を行いました。 2 環境影響調査 定期臭気・水質検査委託を行いました。
指標値	1 (1)証紙取扱枚数 2,775,700 枚 (2) 貼付枚数 271,420 枚 2 集団回収量 1,077t	1 施設稼働日数 365 日 2 定期環境調査回数 1回
決算額	21,124(千円)	5,660(千円)

### 施策3-2 適正な処理の推進 処理施設の適正管理と整備への協力

#### 1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H24年度の状況
第1段階	(1) 市民、事業者と共に現状のごみの分別、収集体制を維持し、さらに分別の向上を図ります。	◎ 実施中
	(2) 不法投棄対策について、市民、土地・施設管理者、警察、行政などによる「飯田市不法投棄対策を考える会」などで検討を行っていきます。	◎ 実施中
第2段階	(1) 高齢化など社会の変化に対応した、ごみの分別、収集・運搬、処分の体制について、南信州広域連合によって検討中の次期ごみ処理施設建設計画を踏まえ、検討を進めます。	△ 一部実施
	(2) ポイ捨てを抑止するための条例についても検討を行っていきます。	◎ 実施中

#### 2 進行を管理する指標

施策指標（再掲）	単位	平成22年度 実績	H24年度 実績	H28年度 目標	達成 状況
ごみの収集量+直接搬入量 （家庭系一般廃棄物）	t	22,578	22,786	20,562	×
1人一日当たりのごみ収集量+直接搬入量 （家庭系一般廃棄物）	g/人・日	573	586	552	×
桐林クリーンセンターへの直接搬入量 （事業系一般廃棄物）	t	5,399	5,526	5,416	×
不法投棄の発見通報件数（廃棄物重量）	件(kg)	222(6,976)	115(4,667)	160(6,300)	×

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向    ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向

△：目標未達成だが改善傾向    ×：目標未達成で、横ばいまたは悪化傾向

### 3 事業の実施状況

事務 事業名	不法投棄対策事業	ごみ収集処理事業
担当課	環境課	環境課
全体 概要	警察等と連携して不法投棄に対処するほか、不法投棄パトロール員の委嘱、実施、防犯策に対する補助金の交付などを行い、不法投棄対策を推進します。	業者への委託により、家庭からごみ集積所に出されたごみの収集運搬を行うほか、粗大ごみの戸別収集を行います。また、ごみリサイクルカレンダーを作成、配布し、ごみの適正処理を推進します。
実績	<p>1 パトロールを実施しました。</p> <p>(1) 不法投棄パトロール委員制度</p> <p>ア 不法投棄パトロールの実施</p> <p>イ 不法投棄パトロール員研修会の実施</p> <p>(2) 夜間パトロール事業を実施しました。</p> <p>2 環境美化による不法投棄されにくい環境づくりの推進及び支援を行いました。</p> <p>(1) 春・秋のゴミゼロ運動の実施(春、秋)</p> <p>(2) 不法投棄回収支援事業</p> <p>(3) 不法投棄監視通報システムモニター事業</p> <p>3 飯田駅前ゴミゼロ運動啓発(花の種、リーフレット、持ち帰り袋配布)事業を実施しました。</p> <p>4 不要テレビの特別回収を行いました。</p>	<p>1 ごみリサイクルカレンダー、ごみ分別ガイドブックの作成、配布、閲覧を実施しました。</p> <p>(1) ごみリサイクルカレンダーの作成</p> <p>(2) ごみリサイクルカレンダー配布業務(組合未加入世帯)</p> <p>2 粗大ごみ戸別収集を実施しました。</p> <p>3 ごみ収集委託業務を実施しました。</p> <p>(1) 塵芥収集運搬業務 9社</p> <p>(2) リサイクルステーション回収</p> <p>4 廃乾電池処理事業を実施しました。</p>
指標値	<p>1 (1) ア 回数 480回</p> <p>イ 回数 1回</p> <p>(2) 回数 3回</p> <p>2 (1)参加人数 33,235人</p> <p>(2)支援自動車台数 のべ14台</p> <p>(3)か所数 1カ所</p> <p>3 回数 1回</p> <p>4 回収台数 201台</p>	<p>1</p> <p>(1)ごみリサイクルカレンダー印刷枚数 62,000枚</p> <p>(2)配布件数 10,020件</p> <p>2 収集件数 71件</p> <p>3 ごみ収集量 20,731t</p> <p>4 処理量 26t</p>
決算額	2,928(千円)	279,182(千円)

事務 事業名	ごみ集積所管理事業	一般廃棄物最終処分場管理事業
担当課	環境課	環境課
全体 概要	家庭からの排出段階でのごみの適正処理を図るため、各地区まちづくり委員会への委託により、ごみ集積所の管理運営を行いました。	飯田市最終処分場において、廃棄物の円滑な受入と適正な処理を行い、環境に配慮した河川放流を行うため浸出水処理施設の適正な管理を行います。また、H25 に旧最終処分場管理事業を統合します。
実績	<p>1 ごみ集積所の適切な運営管理を実施しました。</p> <p>(1) ごみ集積所管理委託</p> <p>(2) ごみ集積所台帳データ整備</p> <p>(3) ごみ集積所早朝監視作業</p> <p>2 ごみ集積所看板を作成しました。</p>	<p>最終処分場の運営、整備、維持及び埋立量の管理を行いました。</p> <p>1 埋立ごみの減量化</p> <p>2 埋立ごみに含まれる資源物の分別の実施</p> <p>3 最終処分場の浸出水処理施設の適正な委託管理</p> <p>4 埋立量及び水質検査結果のホームページでの情報公開</p> <p>5 周辺環境整備</p>
指標値	<p>1 (1)委託地区数 20 地区</p> <p>(2)地区数 20 地区</p> <p>(3)監視実施集積所数 18 箇所</p> <p>2 作成枚数 101 枚</p>	<p>1 埋立量 容量 4,023 m<sup>3</sup></p> <p>2 資源化量 重量 54t</p> <p>3 放流・地下水の検査回数 12 回(毎月 1 回)</p> <p>4 公開回数 12 回(毎月更新)</p> <p>5 回数 4 回</p>
決算額	4,970(千円)	47,494(千円)

事務 事業名	旧最終処分場管理事業	死亡獣畜回収事業
担当課	環境課	環境課
全体 概要	<p>家庭より排出される埋立ごみを安全に最終処分し、処分場を安定した状態に保つための運営、維持、管理します。</p> <p>また、イタチガ沢最終処分場と上村最終処分場を統合し、「旧処分場管理事業」として H23 完了のイタチガ沢最終処分場整備事業を統合します。</p> <p>管理事業内容の特定化に伴い、H25 から一般廃棄物最終処分場管理事業に統合します。</p>	<p>死亡獣畜を回収します。</p> <p>公共の場で死んでいる獣畜(主には犬、猫、タヌキ、ハクビシン)を回収します。</p>
実績	<p>旧最終処分場の維持、管理を行いました。</p> <p>1 イタチガ沢最終処分場浸出液処理施設管理業務委託</p> <p>2 旧最終処分場放流水、周辺地下水ほか水質検査</p> <p>(1)イタチガ沢最終処分場</p> <p>(2)上村最終処分場</p> <p>3 旧最終処分場関連整備(イタチガ沢最終処分場整備事業を統合する)</p> <p>(1)イタチガ沢最終処分場法面整備</p> <p>(2)毛呂窪最終処分場法面整備</p> <p>(3)周辺環境整備工事</p> <p>イタチガ沢最終処分場整備事業を統合</p>	<p>公共の場に放置されている、死亡獣畜を業者に委託して回収しました。</p>
指標値	<p>1 施設管理委託か所 1カ所</p> <p>2 検査回数</p> <p>(1)放流水検査ほか 12回</p> <p>(2)地下水検査ほか 12回</p> <p>3 法面整備箇所 2箇所</p> <p>周辺環境整備箇所 2箇所</p>	<p>1 回収件数 830件</p>
決算額	19,196(千円)	2,185(千円)

施策3 その他事業の実施状況

事務 事業名	廃棄物減量啓発事業
担当課	環境課
全体 概要	ポスターの募集、展示などにより適正な廃棄物処理に対する意識の高揚を図るほか、地域の美化活動を通じてごみの分別の徹底、ごみの減量を図ります。 また、小学生を対象に廃棄物減量・適正処理に関するポスター原画を募集し、作品を掲示することによりごみの減量化を図ります。
実績	<p>1 地域の美化活動の推進しました。</p> <p>(1) 各地域における地域環境美化推進モデル事業の実施</p> <p>2 市民との協働による取組みの研究を行いました。</p> <p>3 ボランティアごみ袋の交付による公共区域の清掃活動の支援を行いました。</p> <p>4 環境衛生施設等への視察を行いました。</p> <p>5 ごみ分別学習会等への講師を派遣しました。</p> <p>6 小学生向けに副読本を配布しました。</p> <p>7 適正な廃棄物処理に対する意識の高揚を図りました。</p> <p>(1) ポスター原画の募集、ポスターの作成、配布</p> <p>(2) ポスター巡回展示の実施</p>
指標値	<p>1 (1)実施事業数 32 事業</p> <p>2実施回数 8 回</p> <p>3 交付枚数 8,347 枚</p> <p>4 実施回数 1回</p> <p>5 実施回数 7 回</p> <p>6 作成冊数 1,200 冊</p> <p>7 (1)ポスター応募点数 462 点</p> <p>ポスター作成 260 枚</p> <p>(2)実施か所数 6 カ所</p>
決算額	2,866(千円)